

保健医療に関する県民意識調査の
結果について

令和5年（2023年）2月7日

熊本県健康福祉部

目次

○調査の概要	P 1
1 調査の目的	
2 調査の方法	
3 調査項目	
4 回収結果	
5 調査結果の見方	
○調査の結果	
・あなたのことについて	P 3
・かかりつけ医療機関・かかりつけ医について	P 5
・かかりつけ歯科医療機関・かかりつけ歯科医について	P 11
・かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師について	P 14
・お薬手帳について	P 16
・くまもとメディカルネットワークについて	P 19
・がんに関することについて	P 24
・脳卒中に関することについて	P 25
・心筋梗塞等の心血管疾患に関することについて	P 26
・精神保健福祉及び精神医療に関することについて	P 27
・認知症に関することについて	P 28
・救急医療に関することについて	P 30
・小児（救急）医療に関することについて	P 38
・新興感染症等の医療に関することについて	P 46
・在宅医療について	P 47
・長期の療養場所について	P 51
・人生の最終段階について	P 54
・臓器提供について	P 64
○本県の保健医療に関する施策についてのご意見・ご要望について	P 66
○調査票	P 68

調査の概要

1 調査の目的

第8次熊本県保健医療計画（計画期間：令和6～11年度）の策定や今後の保健医療行政の推進に活用することを目的に、県民の保健医療に関する考え・意見を調査する。

2 調査の方法

- (1) 調査対象者 県内在住の18歳以上の者 3,100人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づき、市町村別に無作為抽出
※各市町村の対象者数は人口比を踏まえ設定。
- (3) 調査方法 調査票を郵送し、回答は郵送又はインターネットとした。
- (4) 調査期間 令和4年（2022年）9月29日から同年10月14日まで
※但し、10月31日までに県に到達した回答を集計対象とした。

3 調査項目

分類	設問
あなたのこと（居住地域・年齢）について	問1、2
かかりつけ医療機関・かかりつけ医について	問3-1、3-2、3-3、3-4
かかりつけ歯科医療機関・かかりつけ歯科医について	問4-1、4-2
かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師について	問5
お薬手帳について	問6-1、6-2
くまもとメディカルネットワークについて	問7-1、7-2、7-3
がんに関することについて	問8
脳卒中に関することについて	問9
心筋梗塞等の心血管疾患に関することについて	問10
精神保健福祉及び精神医療に関することについて	問11
認知症に関することについて	問12、13
救急医療に関することについて	問14-1、14-2、15、 16-1、16-2
小児（救急）医療に関することについて	問17-1、17-2、18、 19-1、19-2
新興感染症等の医療に関することについて	問20
在宅医療について	問21、22
長期の療養場所について	問23-1、23-2
人生の最終段階について	問24-1、24-2、24-3、25、 26-1、26-2
臓器提供について	問27
県の保健医療に関する施策について	自由記述

4 回収結果

標本数	3,100
回収数	1,630
回収率	52.6%

※郵送回答 1,460、インターネット回答 170

5 調査結果の見方

(1) 回答者の居住地域について

- ・回答者の居住地域については、第7次熊本県保健医療計画における二次保健医療圏を単位にまとめています。

二次保健医療圏名	構成市町村
熊本・上益城	【熊本】熊本市 【上益城】御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町
宇城	宇土市、宇城市、美里町
有明	荒尾市、玉名市、玉東町、和水町、南関町、長洲町
鹿本	山鹿市
菊池	菊池市、合志市、大津町、菊陽町
阿蘇	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村
八代	八代市、氷川町
芦北	水俣市、芦北町、津奈木町
球磨	人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村
天草	天草市、上天草市、苓北町

(2) グラフについて

- ・単数回答の設問については、二次保健医療圏（圏域）別、年代別の回答の構成比率をグラフで示しています（県全体の構成比率は各グラフ中に表示）。
※「熊本・上益城圏域」は、参考として、「熊本市」（熊本市保健所管轄）と「上益城」（御船保健所管轄）に分けたグラフも掲載しています。
- ・複数回答の設問については、県全体の回答の構成比率をグラフで示しています。（回答割合が高い順に記載しています。）

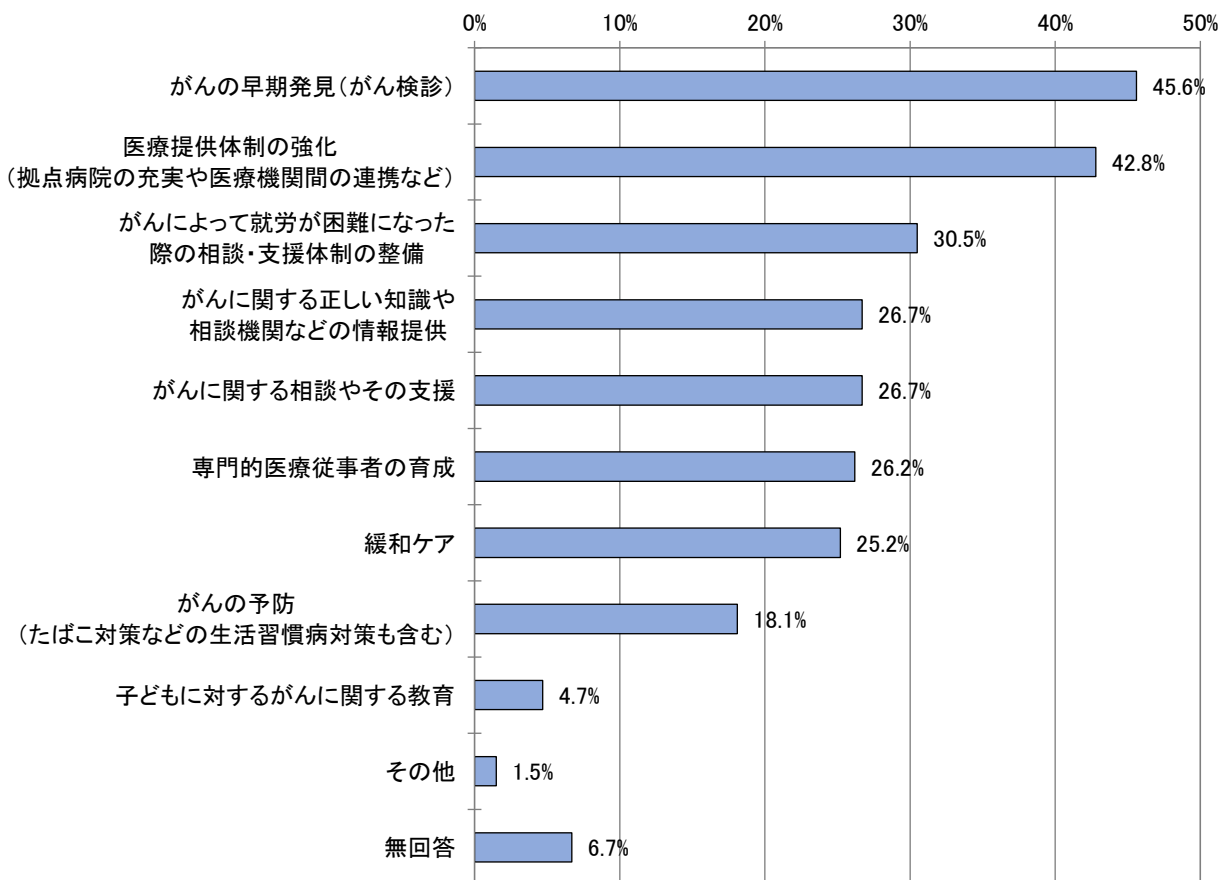
(3) 回答の構成比率について

- ・図表中の構成比率は、小数点第二位以下を四捨五入して示しています。
- ・単数回答の設問については、各項目の合計が 100.0%とならない場合があるため、最多の項目において端数処理しています。
- ・複数回答の設問については、合計が 100.0%を超えています。

◆ 「がん」に関することについておたずねします。

【問8】あなたは、がん対策についてどのような取組みに力を入れてほしいと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

全体では、「がんの早期発見（がん検診）」（45.6%）が最も高く、以下、「医療提供体制の強化（拠点病院の充実や医療機関間の連携など）」（42.8%）、「がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備」（30.5%）が続いている。



○参考（用語説明）

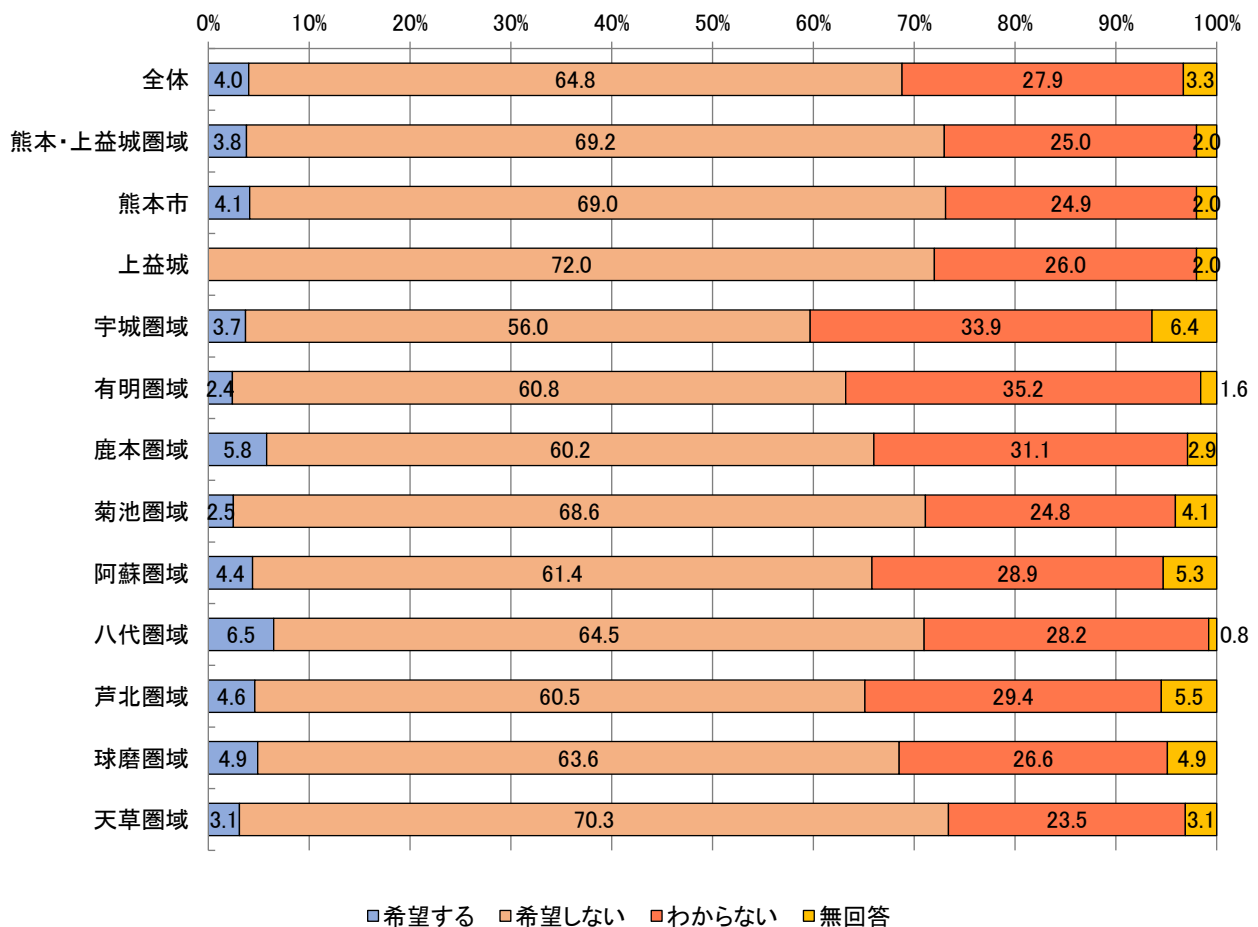
「緩和ケア」とは、がんと診断されたときから行う身体的・精神的な苦痛を和らげるケアを通じて、患者とその家族の生活の質の向上を目標とするものです。

【問25】あなたは、将来治る見込みのない病気になり、判断能力や意識がなくなった場合に、自身の延命治療を希望しますか。

全体では「希望しない」(64.8%)が最も高く、以下、「わからない」(27.9%)、「希望する」(4.0%)が続いている。

○圏域別

いずれの圏域においても「希望しない」の割合が高い。



○参考 (用語説明)

「延命治療」とは、病状や衰弱が進み回復の見込みがなく、やがて死を迎える段階で、いろいろな技術により生命の維持を図ることです。

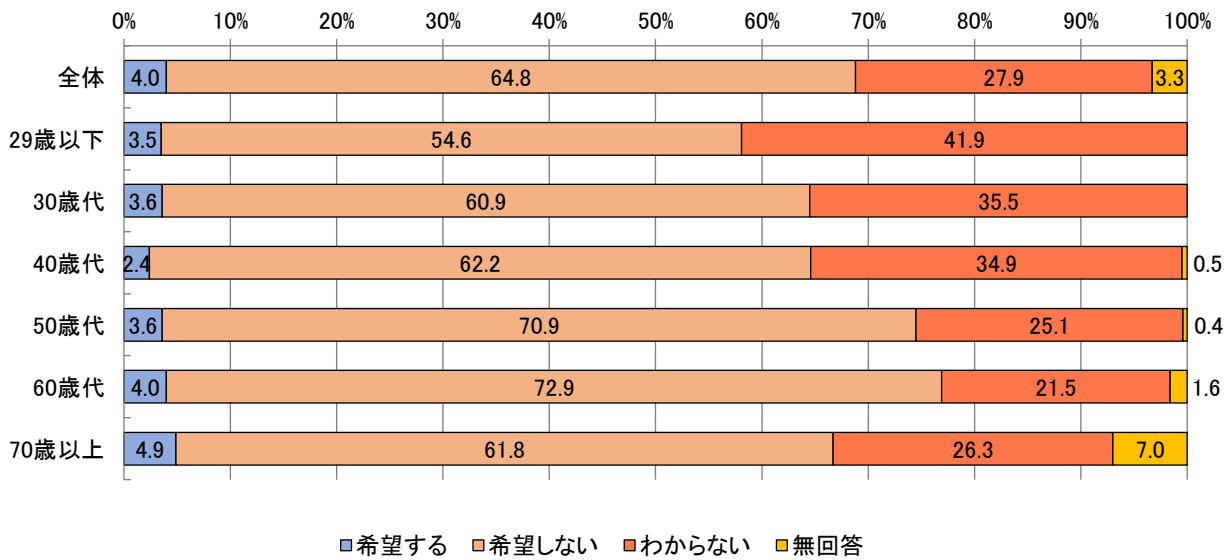
例：口から食べることができなくなったら、栄養チューブ（胃管）を鼻に挿入する。

呼吸がとまったら、人工呼吸器の装置等を装着する。

【問25】

○年代別

いずれの年代においても「希望しない」の割合が高い。

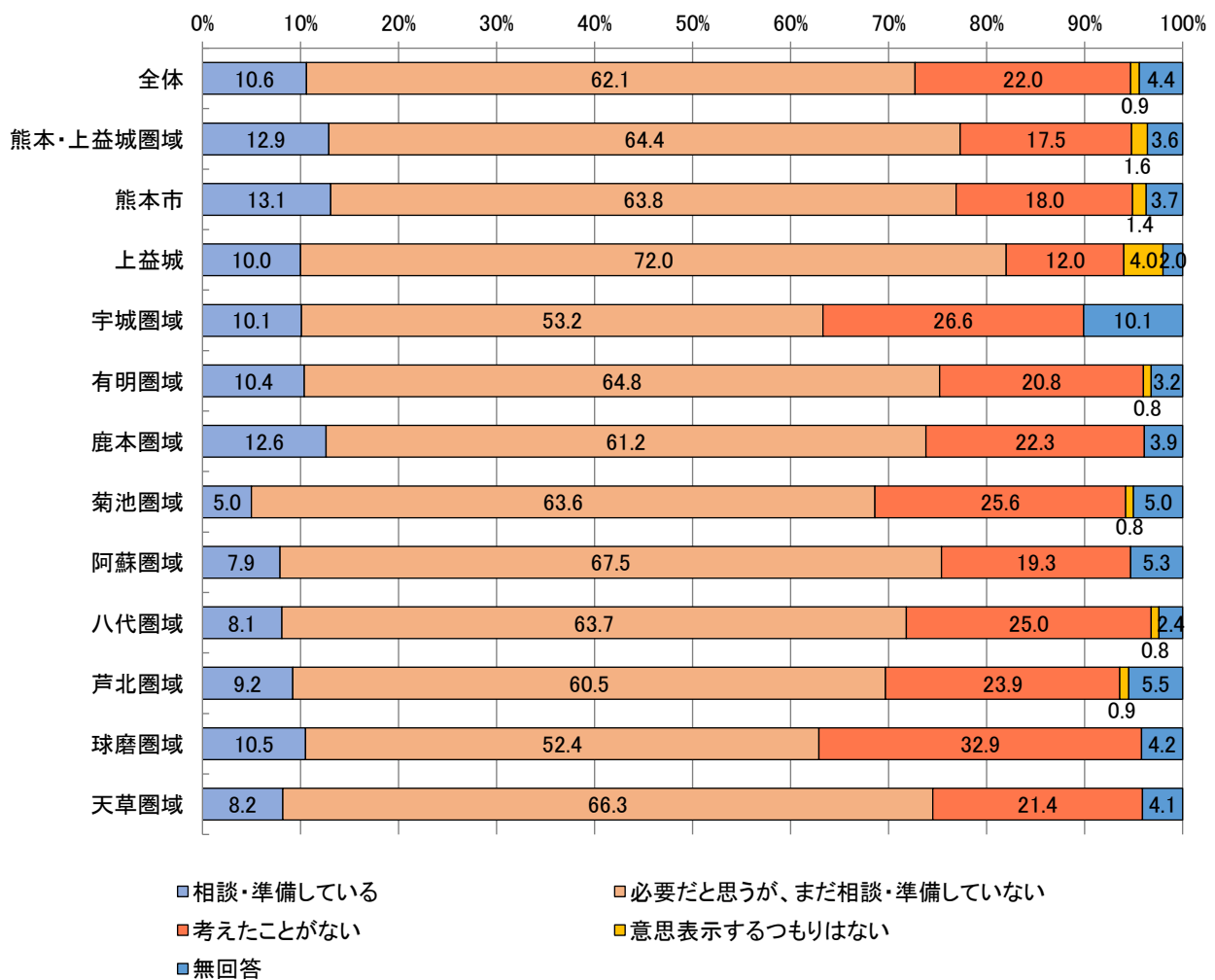


【問26-1】あなたは、判断能力や意識がなくなった場合に備えて、人生の最終段階の医療（延命治療を含む）に関して、家族等への相談や意思表示の手段（記録や書類）の準備をしていますか。

全体では、「必要だと思うが、まだ相談・準備していない」（62.1%）が最も高く、以下、「考えたことがない」（22.0%）、「相談・準備している」（10.6%）が続いている。

○圏域別

いずれの圏域においても「必要だと思うが、まだ相談・準備していない」の割合が高い。



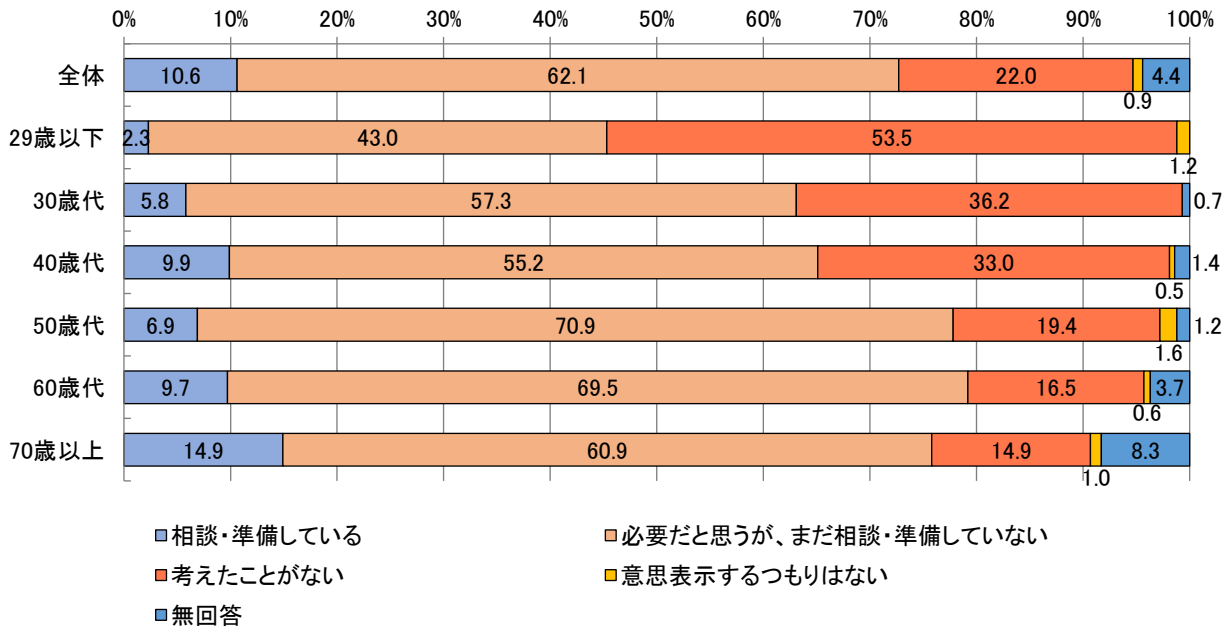
○参考（用語説明）

もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組みを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」といい、より馴染みやすい言葉となるよう「人生会議」という愛称で呼ばれています。

【問26-1】

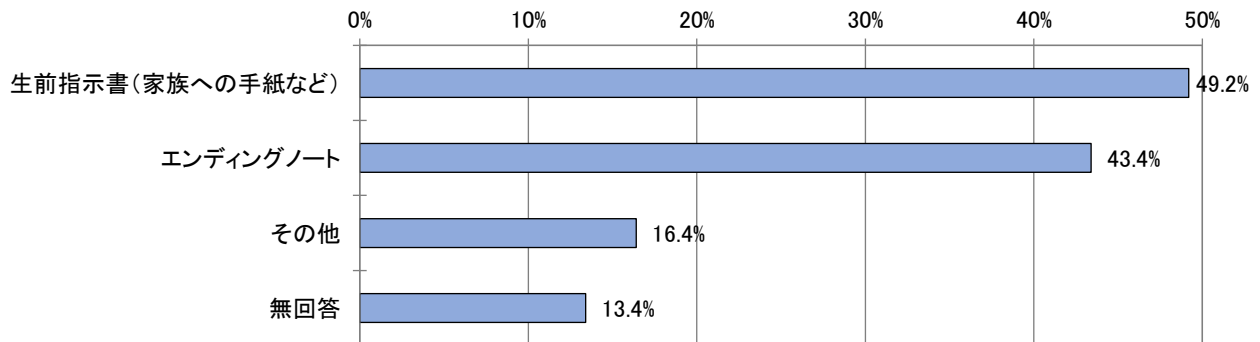
○年代別

「29歳以下」では「考えたことがない」の割合が高いが、それ以外の年代では「必要だと思うが、まだ相談・準備していない」の割合が高い。



【問26-2】「問26-1」で「1. 相談・準備している」、又は「2. 必要だと思うが、まだ相談・準備していない」を選んだ方におたずねします。その相談・準備の手段について、当てはまるものをすべて選んでください。

全体では、「生前指示書（家族への手紙など）」（49.2%）が最も高く、以下、「エンディングノート」（43.4%）が続いている。



【参考：前回調査との比較】

設問・回答内容	今回調査 (R4.10)	前回調査 (H29.3)
相談・準備の手段について		
「生前指示書」	49.2%	46.0%
「エンディングノート」	43.4%	34.8%

○参考（用語説明）

「エンディングノート」とは、自分に関する情報、お葬式やお墓、財産など死後に必要な情報や終末期や死亡後の希望等を書き、遺された家族への引継を行えるようにする書面のことです。

「生前指示書」とは、自分が意思決定できなくなった時等に備えて、終末期をどう過ごしたいのか、どういう医療を受けたいのか、受けたくない医療は何か、最期は延命治療を希望するのか等明確に記載する書面のことです。